



堀家住宅

一橋徳川家領庄屋



たつの市指定文化財

堀家住宅 <指定建造物一覧> 建築年は瓦銘等から

- 主 屋
平屋建て、入母屋屋根、本瓦葺き (1767・明和4年)、増築7カ所
- 座 敷
浜座敷 (1850・嘉永3年)、裏座敷 (1857・安政4年)
- 蔵
内蔵 (19世紀前半)、乾蔵 (1809・文化6年)、二番蔵 (19世紀前半)
浜蔵 (1822・文政5年)、三番蔵 (1826・文政9年)、四番蔵 (1826・文政9年)
五番蔵 (1826・文政9年)、大乾蔵 (1858・安政5年)、
八番蔵及び九番蔵 (1854・嘉永7年)、六番蔵及び七番蔵 (1827・文政10年)
東蔵 (1850・嘉永3年)、十番蔵 (19世紀中頃)
- 付属建物
味噌部屋 (19世紀中頃)、柴小屋・漬物部屋 (1854・嘉永7年)
コナシ部屋 (1838・天保9年)、養蚕部屋 (19世紀中頃)
牛小屋 (1850・嘉永3年)、裏座敷便所 (1857・安政4年)
- 門
長屋門 (1816・文化13年)、浜座敷南門、西門、東門、露地門、
オウラ北門、ヒガシカド北門 (以上、19世紀中頃まで)
- 堀
玄関東堀、南堀、北堀、オウラ東堀、裏座敷南堀、裏座敷東堀
(以上、19世紀中頃まで)



主屋の屋根並みと鶏籠山



揖保川からみた堀家



お 願 い

堀家住宅は住まいとして使用されているため、非公開です。
お問い合わせは下記へお願いします。

たつの市教育委員会教育事業部文化財課
〒679-4392 兵庫県たつの市新宮町宮内 16
☎ 0791-75-5450



空からみた堀家



▶長屋門

たつの市指定文化財「堀家住宅」

《平成22年3月26日指定》
兵庫県たつの市龍野町日飼291番

●堀家の歴史

堀家が日飼村庄屋として登場するのは、1655(明暦元)年の史料にさかのぼります。日飼村は姫路藩から龍野藩に移り、1747(延享4)年には周辺五か村とともに一橋徳川家領になりました。

堀家は、各種農産物の生産と流通を取り仕切り、地域を代表する豪農として繁栄しました。一橋徳川家領の庄屋になってから、苗字・帯刀御免などの地位を得ることで、さらにその財力を高め、屋敷構えは質・量ともに破格の規模を誇るようになりました。

●堀家の建物

堀家の広大な屋敷地には、主屋をはじめ多数の蔵や座敷、付属建物などが次々と建築されました。

主屋は史料や瓦銘から1767(明和4)年の建築で、他の多くの建物も江戸時代末期までに建てられました。それら、ほとんどの建物は改変が少なく、建築当時の姿をとどめ、しかも敷地内で一括して残っています。

こうしたことから、堀家住宅は極めて重要な歴史文化遺産として、主屋1棟、座敷2棟、蔵12棟、付属屋6棟、門7棟、堀6棟の計34棟がたつの市指定文化財となっています。

▶主屋



主屋正面と式台玄関



サヤノマと縁



カミノマ(奥)
ツギノマ(手前)



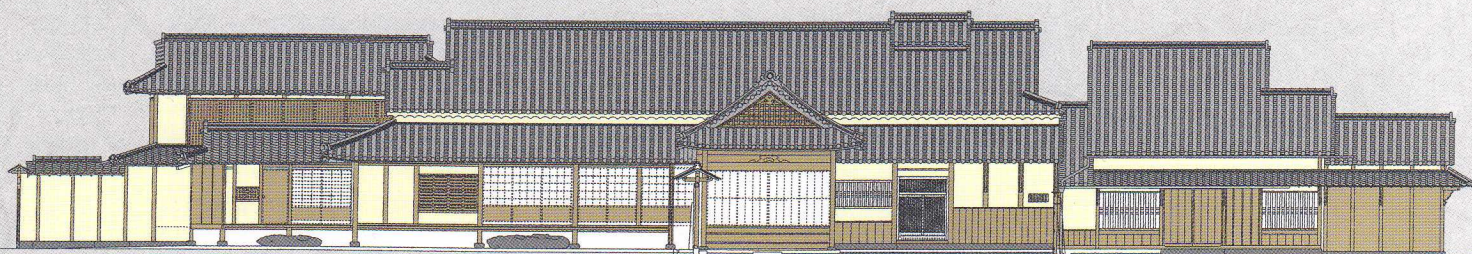
土間(ナカニワ)と梁組

九間取りの間取りを特徴とし、平屋建て、入母屋屋根、本瓦葺き。式台玄関は増築。



建物配置図

▶内蔵と裏座敷



主屋立面図